

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	城西大学
設置者名	学校法人 城西大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
経済学部	経済学科		26	0	52	78	13	
現代政策学部	社会経済システム学科		18	0	40	58	13	
経営学部	マネジメント総合学科		18	0	26	44	13	
理学部	数学科 (坂戸・紀尾井町)		34	0	26	60	13	
	化学科		16	0	116	132	13	
薬学部	薬学科		0	23	45	68	19	
	薬科学科		16	2	39	57	13	
	医療栄養学科		18	0	48	66	13	
(備考) ● 専門科目には、専門科目以外の科目群（関連科目）の授業科目も含まれる。 ● 実践的教育から構成される授業科目も含まれる。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ポータルサイト (JUnavi) のトップページに掲載する。 <a href="https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do">https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	城西大学
設置者名	学校法人 城西大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 <a href="https://www.josai.jp/about/director/">https://www.josai.jp/about/director/</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤 上原 明 理事長	大正製薬ホールディングス (株)代表取締役社長	2021.4.1～ 2025.3.31	理事長
非常勤 吉本 高志 理事	元独立行政法人大学 入試センター理事長	2021.4.1～ 2025.3.31	大学経営全般に関する 指導、助言及び 管理、監督
非常勤 羽入 佐和子 理事	元国会図書館館長	2021.4.1～ 2025.3.31	学術研究に関する 指導、助言及び管 理、監督
非常勤 浅島 誠 理事	帝京大学学術顧問	2019.4.1～ 2023.3.31	学術研究に関する 指導、助言及び管 理、監督
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	城西大学
設置者名	学校法人 城西大学

## ○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表にかかわる取り組みの概要)

### ○授業計画書〈シラバス〉の作成過程について

シラバス掲載内容及び作成にあたっての留意は以下のとおり

#### (1) 科目基本情報

- ① 科目名
- ② 配当年次
- ③ 開講期間
- ④ 単位数
- ⑤ 担当教員名
- ⑥ 期間・曜日・時限・教室

#### (2) 授業の目的・目標等

- ① 授業の概要
- ② 授業の目的・目標
- ③ 習得できる力
- ④ 授業の到達目標
- ⑤ 実務経験のある教員による授業科目  
※実務経験を有する教員の場合は記述する。

#### (3) 準備学習の指示

#### (4) 講義スケジュール

#### (5) 教科書

#### (6) 参考文献

#### (7) 授業の方法

#### (8) 成績評価方法

※到達目標の達成度を測定できる方法と基準を記述してください。

- ・評価方法
- ・割合
- ・評価基準 など

#### (9) オフィスアワー、居室、ホームページ

#### (10) その他特記事項

なお、シラバス作成にあたり、3つのポリシー及び当該学部・学科のカリキュラムポリシーに準じて記述するよう留意し作成している(結果として大学の教育の質の保証に繋がることを意識し作成にあたる)。

### ○授業計画の作成・公表時期

例年、前年度の10月中旬頃に各教員が担当する授業担当科目が決定する。

それに伴い、11月初旬ごろからそれぞれの教員がシラバスの作成を行い、学部内のチェックを得て新年度までに完成させる。

公表方法及び公表時期については、当該年度開始と同時に大学のポータルサイト(JUnavi)や大学ホームページから閲覧できるようになっている。

授業計画書の公表方法	ポータルサイト(JUnavi)のトップページに掲載する。 <a href="https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do">https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do</a>
------------	---

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

それぞれの学部、学科にて学年毎に履修すべき科目や選択科目を設置している。

授業は原則として、前期・後期それぞれ90分授業を基本（実験・実習は除く）とし、15週の授業で構成している。さらに1年間の履修上限を設定することで、学生の各授業科目の学習時間の確保を行い、単位制度の実質化につなげている。

履修した授業科目に対しては、あらかじめシラバスで記してある成績評価方法（試験やその他の評価方法〈課題・レポート等〉）により評価をしている。なお、いずれの授業科目も授業時数の1/3以上欠席した場合には、原則として当該授業科目の受験資格を失うこととしている。

#### ○単位授与及び成績評価基準について

学生が履修した授業科目に対して、試験その他の方法（レポート等）により学習評価をしたうえで、その単位を認定する。単位認定の評価は、S・A・B・Cにより単位を修得したことを示す。評価の基準については、次のとおりとなっている。

成績評価	評価基準（点）	合否
S	100～90	合格
A	89～80	合格
B	79～70	合格
C	69～60	合格
F	59以下	不合格

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価方法及び評価基準については大学設置基準に基づいて、学則第26条ならびにシラバスに記載されている。本学では、GPA制度を導入しており、学生は自らの学習成果の推移を知り、学修の自己管理ができるようになっている。GPAの結果は、学科毎に通知する成績表や成績証明書に記載している。

学生便覧に示されている成績評価の基準は、100点満点で、100～90点が「S」評価、89～80点が「A」評価、79～70点が「B」評価、69～60点が「C」評価で、以上が合格とし、59点以下が「F」評価の不合格となる。それぞれのGPAのポイントは、4、3、2、1、0となっている。

単位については、大学設置基準に基づき学則第15条で定められている。

(GPAの基準)

成績評価 (表示)	評価の基準 (点)	合否	G P
S	100～90	合格	4
A	89～80	合格	3
B	79～70	合格	2
C	69～60	合格	1
F	59 以下	不合格	0
T	追試験受験可能	未受験 (不合格)	0
Z	失格	不合格	0

〈G P × 当該科目の単位数〉の合計

$$G P A = \frac{\text{〈G P × 当該科目の単位数〉の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計 (T 評価、F 評価、Z 評価を含む)}}$$

※不合格となった科目を次年度以降に再履修して合格した場合には、成績は上書きされ、過去の不合格の成績は、GPA計算式に算入されない。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

〈成績評価基準〉

学生便覧 (城西大学ホームページに掲載) の「履修の手引と  
手続」に掲載している。

【学生便覧入手方法】

城西大学ホームページにて入手可能

<https://www.josai.ac.jp/2022learninginfo/index.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【学位授与の方針】

○経済学部

経済学部は、本学の建学の精神を実現するため、地域および国際社会に貢献する人材育成を目標とし、経済学部が定めたカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、以下に示す能力を修得したと判断された者に学位を授与します。

- 経済学についての基礎知識を修得している。
- 教養教育を通じた批判的思考・論理的汎用力を修得している。
- 経済学を中心とする社会科学の知識をもとに、現代経済社会の諸問題について主体的に考えて分析し、解決策の提案ならびに考察できる。
- 経済学に関連する幅広い教養と十分な語学力を身につけ、さまざまな文化的背景を持つ人々と交流できる

-卒業要件-

(学則第27条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

経済学部

基本科目	24単位
専門科目	52単位
関連科目	52単位
計	128単位

○現代政策学部

現代政策学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、政策学を中核とする課題発見・解決のための幅広い分野の学びとリベラルアーツ科目の学びにより、生涯にわたり自律的に学び続けることができ、高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成することを理念とします。そのため、公共政策、ビジネス法務、医療福祉政策、地域イノベーション、および国際文化政策の5つの実践的な課題領域を設置し、政策学を中核とする幅広い知識とその応用スキルを身に着け、創造性、批判的思考、コミュニケーション能力や協働する力を涵養します。具体的には、次の8項目を教育目標とします。

- 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術（ICT）を効果的に活用する力。
- 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。

● 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

上記に掲げる資質や能力を身に着けたもので、本学に4年以上在学し、所定の授業科目を履修して130単位以上を修得し、5つの課題領域から専攻を選択し、所定の単位を修めたものに「学士（現代政策学）」を授与します。

-卒業要件-

（学則第27条）

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

現代政策学部

基本科目 44単位

専門科目 50単位

関連科目 36単位

計 130単位

### ○経営学部

経営学部では、地域社会や国際社会で活躍する起業家精神（アントレプレナーシップ）をもったマネジメントのプロフェッショナルの育成を目標としています。所定の単位を取得し、以下の知識・能力を修得したと判断された人に学士（経営学）を授与します。

- 幅広い教養とマネジメントについての専門的知識
- 地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力（コミュニケーション・リテラシーとメディア・リテラシー）
- マネジメントに関わる問題や課題を自ら発見し、解決するための思考力・判断力・実践力
- 起業家精神（アントレプレナーシップ）をもち、社会や組織の中でリーダーシップを発揮し、価値を創造する能力
- 多様な人と協力し、市民としての高い責任感と倫理観をもって主体的に社会に貢献する能力

-卒業要件-

（学則第27条）

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

経営学部

基本科目 28単位

専門科目 72単位

関連科目 32単位

計 132単位

### ○理学部

理学部では、理学の本質を論理的、実証的に解析・考察する能力と、複雑な社会情勢に適応できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士（理学）の学位を授与します。

#### 【理学部 数学科】

理学部数学科では、論理的思考ができ、現実の諸問題を数理的に解明し解決できる



能力を備えた人材、および中学・高校の数学教員として教育現場で教育を行うことのできる能力を備えた人材を育成することを目標として、以下の態度、意欲、技能を習得することを目指した学位授与方針を満たした人に学士の学位を授与します。

- 数学の知識と応用によって現代社会の多様な問題を数理的に理解する態度と問題を解決しようとする意欲（態度と意欲）
- 数理科学の知識とコンピュータ技術によって現代社会の多様な問題の解決に貢献する技術と能力（技術と能力）

-卒業要件-

（学則第27条）

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

理学部 数学科

基本科目	12単位
専門科目	88単位
関連科目	18単位
専門・関連	6単位
計	124単位

【理学部 化学科】

理学部化学科は、社会が持続的に発展するために必要な人材の育成を目標として、以下の能力を修得した人に学士の学位を授与します。

- 大学課程の化学に関する専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 化学の修得をつうじて獲得した、社会人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、表現力や道徳的素養
- 修得した化学の知識と技能を基礎として、社会の多様性に配慮して主体的かつ協働的に実社会に貢献できる能力
- 教職を志望する人には、その職務の遂行に必要な能力

-卒業要件-

（学則第27条）

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

理学部 化学科

基本科目	12単位
専門科目	98単位
関連科目	18単位
計	128単位

○薬学部

薬学部では、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる専門知識・技能、思考力・判断力・表現力を有し、実社会に貢献できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士（薬学、薬科学、医療栄養学）の学位を授与します。

【薬学部 薬学科】

薬学科は、次に掲げる資質・能力を醸成し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与します。

- 豊かな人間性を持ち、社会環境の変化を捉えて、医療人としてのあるべき姿を常に模索しつつ、自己研鑽を重ねる薬剤師としての心構え
- 薬剤師に求められる社会のニーズに常に対応し、人々の生活に積極的に関わると共に、その活動を通じて見出した課題に取り組むことで、医療の発展に貢献する態度
- 社会や科学に対する教養を基盤とし、健康や医療に関する幅広い知識と技能を備え、薬の専門家として臨床現場での問題に対応できる能力
- 薬剤師としての基本的能力に加え、医療栄養、高度地域医療、法医薬学、もしくは最先端医療の分野において、高い専門性を獲得し、それを社会に活かす能力

-卒業要件-

(学則第27条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

薬学部 薬学科

基本科目	10単位
専門科目	168単位
関連科目	8単位
計	186単位

【薬学部 薬科学科】

薬科学科は、次に掲げる資質・能力を醸成し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬科学）の学位を授与します。

- 人々の生活を支援する研究者・技術者としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍する能力
- 研究者・技術者として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 研究者・技術者として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、研究力を有し、高度な科学技術に貢献できる能力
- 薬科学の基礎知識を基盤として、化粧品・香粧品学、食品・栄養学の素養を有し、関連する広範な分野で主体的かつ協働的に貢献できる研究者・技術者になる能力
- 薬科学の基礎知識を基盤として、さらに高い専門性を有する薬科学を学び研究力を発展させることができる能力

-卒業要件-

(学則第27条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

薬学部 薬科学科

基本科目	10単位
専門科目	108単位
関連科目	6単位
計	124単位

【薬学部 医療栄養学科】

医療栄養学科は、次に掲げる資質・能力を醸成し、さらに本学科の所定の卒業要件

を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（医療栄養学）の学位を授与します。

- 医療人としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍できる能力
- 医療人として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、医療栄養学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献できる能力
- 医療制度、他職種の役割を理解し、チーム医療において主体的かつ協働的に貢献する管理栄養士になる能力
- 医学、薬学の素養を有し、関連する広範な分野で人々の健康を護るために活躍できる管理栄養士になる能力

-卒業要件-

(学則第27条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

薬学部 医療栄養学科

基本科目 9 単位

専門科目 116 単位

関連科目 6 単位

計 131 単位

#### 【卒業判定の手順】

最終学年（4年生〈薬学科は6年生〉）の成績評価表を基に、各学部にて定められた卒業要件にそって、科目の成績評価が適切に行われているか確認を行った上で、卒業可否を決定する。各学部において定められた、分野ごとの科目評価を確認する。なお、学生に対する卒業可否についての発表は「卒業発表日」（年間行事予定表に掲載）に行う。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

大学ホームページにて公表 <https://www.josai.ac.jp/>  
なお、卒業に必要な科目及び単位数については、『学生便覧』（城西大学ホームページに掲載）の「履修の手引と手続」「城西大学学則」に掲載している。

#### 【学生便覧入手方法】

城西大学教ホームページにて入手可能

<https://www.josai.ac.jp/2022learninginfo/index.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	城西大学
設置者名	学校法人 城西大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネット <a href="https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2021.pdf">https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2021.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	インターネット <a href="https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/zaisan_2021.pdf">https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/zaisan_2021.pdf</a>
事業報告書	インターネット <a href="https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/jigyou_2021.pdf">https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/jigyou_2021.pdf</a>
監事による監査報告(書)	インターネット <a href="https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kansa_2021.pdf">https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kansa_2021.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:学校法人城西大学2022年度事業計画 対象年度:2022年度)
公表方法:ホームページ <a href="https://www.josai.jp/about/plan/project/pdf/jigyokeikaku_2022.pdf">https://www.josai.jp/about/plan/project/pdf/jigyokeikaku_2022.pdf</a>
中長期計画(名称:学校法人城西大学中期計画 対象年度:2020~2024年度)
公表方法:ホームページ <a href="https://www.josai.jp/about/plan/pdf/chukikeikaku.pdf">https://www.josai.jp/about/plan/pdf/chukikeikaku.pdf</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ <a href="https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html">https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページ <a href="https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html">https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a> ) (概要) 城西大学経済学部は、常に新しい時代を視野に入れ、学際的な研究・教育を実践します。さまざまな個性、文化的背景を持つ学生が、学問を通して、論理的・多面的に考え、自ら問題解決する力を養い、それぞれの個性を伸ばし、地域や国際社会でそれらを生かしたキャリアを形成していくことができるよう教育を行います。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a> ) (概要) 経済学部は、本学の建学の精神を実現するため、地域および国際社会に貢献する人材育成を目標とし、経済学部が定めたカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、以下に示す能力を修得したと判断された者に学位を授与します。 ●経済学についての基礎知識を修得している。 ●教養教育を通じた批判的思考・論理的汎用力を修得している。 ●経済学を中心とする社会科学の知識をもとに、現代経済社会の諸問題について主体的に考えて分析し、解決策の提案ならびに考察できる。 ●経済学に関連する幅広い教養と十分な語学力を身につけ、さまざまな文化的背景を持つ人々と交流できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a> ) (概要) 経済学部は、世界と日本の経済の仕組みや動向を理解、分析し、問題を解決する力を身につけることを目標とした教育課程を編成しており、経済学やデータサイエンスに関する基礎科目と専門科目、幅広い分野にわたる教養科目、様々な外国語科目を配置しています。なお、段階的な積み上げにより、基礎知識を確実に修得し、基礎知識の修得後は、学生の個人的関心に応じた学習目標の設定を可能としています。また、学生の進路の道しるべとして、「アジア・国際経済コース」「企業・産業経済コース」「金融・証券経済コース」「地域・環境経済コース」「データサイエンスコース」の 5 つのコースを設定しています。 ●基礎となる経済学の諸概念を学ぶために、初年次教育として基礎科目を 1 年次に配置しています。また、専門分野である経済学を幅広い視点から理解していくために、人文科学、社会科学、自然科学など、他分野の知識が修得できるように教養科目（関連科目（第二分野））を配置しています。 ●経済学の専門科目については、経済学を体系的に理解するために段階的な学習に配慮しています。基礎的な知識と理解を深めるために、「経済事情 A」「経済事情 B」「経済学の考え方」「マクロ経済学入門」「ミクロ経済学入門」を 1 年次より選択必修科目として配置するとともに、経済学科として修得すべき関連科目（第一分野）を選択必修科目として配置しています。また、履修コースごとに設置されたコース科目は、基本的に 2 年次以降に配置し、経済学に対する体系的な理解を深めます。さらに、経済学において求められる情報・データを収集し活用することのできる能力を向上させるために、統計学やデータサイエンスに関する科目を配置しています。加えて、コースを超えた諸問題を学ぶために関連科目（第一分野・第二分野）や教職関連科目を配置しています。これらの科目を履修することで経済学的思考力を涵養します。 ●最新の金融市場に関する情報や金融業界の取り組み、金融機関の経営や業務内容など、

<p>生きた金融の知識を習得するために、金融の現場で働く実務家を講師として招いて行われる「特殊講義（寄付講座）」を配置しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ともに学ぶ教員や仲間との関係を深め、知ること、学ぶことの楽しみを味わい、各種アカデミックスキルの習得を促し、円滑に大学での学修や生活に適応することを支援するために、1年次に「フレッシュマンセミナー」を配置しています。2年次以降は、1年次に形成した各種スキルを基盤とし、学生自身が関心のあるテーマを深め、自ら探求するとともに、個性を伸ばしていくことができるように「ソフォモアセミナー」「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」をそれぞれ配置しています。これらの科目は必須科目であり、履修することでコミュニケーション能力、論理的思考力、総合的判断力を涵養します。</li> <li>●外国語科目では、国際社会におけるコミュニケーション能力を涵養するために、英語（留学生は日本語）を必修とし、その他にも、ヨーロッパやアジアの国々の言語を選択科目として配置しています。また、オール・イングリッシュで学べる科目も配置しています。さらに、経済学部独自の海外研修プログラムも配置しています。これらの科目を履修することで「読み」「書き」だけでなく、「話す」「聴く」能力を涵養します。</li> </ul>
<p>入学者の受入れに関する方針  （公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>）</p>
<p>（概要）  城西大学経済学部は、学問を通して、論理的・多面的に考え、自ら問題解決する力を身につけ、自らの個性を生かして地域や国際社会に貢献することが期待できる、以下のような人物の入学を求めています。</p> <p>知識・専門性・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高等学校で学んだ主要教科・科目について、教科書レベルの知識をもっている。</li> <li>●文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。</li> </ul> <p>思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決のために知識・技能を多面的、総合的に活用できる。</li> <li>●自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。</li> </ul> <p>主体的に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●世の中の現状を経済という観点から考えることに関心をもち、それを学修や行動に移すことができる。</li> <li>●知的好奇心をもって、入学までに培った基礎学力をさらに広げ・深めていこうとする向上心をもっている。</li> <li>●経済学を中心に、経営、政策、法律、歴史、科学、思想、文学、言語などの幅広い分野にわたる教養を身につけ、それらを自らの興味関心と結びつけて自分の世界を広げていく向上心をもっている。</li> <li>●論理的思考を修得しようとする。</li> <li>●留学、スポーツ、文化的活動、ボランティア活動、資格取得など、大学内外、国内外における学びのフィールドを有機的に結び付けて、自分の学びをデザインしていく行動力をもっている。</li> <li>●高い倫理観をもっている。</li> </ul>

<p>学部等名 現代政策学部</p>
<p>教育研究上の目的  （公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>）</p>
<p>（概要）  現代政策学部は、政策学を中核とする学びとリベラルアーツ科目の学びにより、地域社会とグローバル社会の課題発見・解決のための知識とスキルを活用できる人材、生涯にわたり自律的に学び続けることができる人材、および高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成すること、並びに幅広い学問分野において新しい価値を創造してその研究成果を教育や社会で実践することを教育研究上の目的とします。</p>

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： ）</p>
<p>（概要）</p> <p>現代政策学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、政策学を中核とする課題発見・解決のための幅広い分野の学びとリベラルアーツ科目の学びにより、生涯にわたり自律的に学び続けることができ、高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成することを理念とします。そのため、公共政策、ビジネス法務、医療福祉政策、地域イノベーション、および国際文化政策の5つの実践的な課題領域を設置し、政策学を中核とする幅広い知識とその応用スキルを身に付け、創造性、批判的思考、コミュニケーション能力や協働する力を涵養します。具体的には、次の8項目を教育目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。</li> <li>●自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。</li> <li>●自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術（ICT）を効果的に活用する力。</li> <li>●幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。</li> <li>●実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。</li> <li>●社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。</li> <li>●社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。</li> <li>●課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。</li> </ul> <p>上記に掲げる資質や能力を身に付けたもので、本学に4年以上在学し、所定の授業科目を履修して130単位以上を修得し、5つの課題領域から専攻を選択し、所定の単位を修めたものに「学士（現代政策学）」を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>）</p>
<p>（概要）</p> <p>現代政策学部では、本学部のディプロマ・ポリシーを実現するために、基本科目、専門科目、関連科目、自由科目を配置します。また、政策学の専門分野を確立するために、公共政策、ビジネス法務、医療福祉政策、地域イノベーション、および国際文化政策の5つの課題領域を配置します。2年次より、この課題領域から専攻を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●政策学を学びの中核とし、その基礎的知識と手法を修得するための必修科目を配置します。</li> <li>●5つの課題領域ごとに選択必修のコア科目を定めます。</li> <li>●課外活動や事例研究をつうじて、地域社会及びグローバル社会の課題発見・解決の実現ができる人材を養成するため、必修の演習科目を全学年に配置し、統合的な能力を養います。</li> <li>●学問の基礎を学び、幅広い教養と多様な価値観を獲得するために、社会科学、人文科学、自然科学の科目を配置します。</li> <li>●日本語運用能力、数量的スキル、および情報通信技術（ICT）スキルを向上させる基礎教育科目を設定します。</li> <li>●基礎的な外国語能力の習得のための科目を配置します。</li> <li>●社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育成するため、キャリア科目を配置します。</li> <li>●心身の健康の保持と増進のために、スポーツ・保健体育科目を配置します。</li> <li>●次世代の人材育成を目指す学生のために、教職に関する科目を自由科目として配置します。</li> </ul>
<p>入学者の受入れに関する方針</p>

(公表方法 : <a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a> )
(概要) 現代政策学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、政策学を中核とする課題発見・解決のための幅広い分野の学びとリベラルアーツ科目の学びにより、生涯にわたり自律的に学び続けることができ、高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成するための教育を行います。そのために、本学部では、建学の精神と本学部の理念を理解し、かつ意欲をもって実践することを望む者で、以下に挙げる4つの資質の全てを有する学生を全世界から求めています。 ●政策学およびリベラルアーツ科目の学修に必要な知識と技能。 ●グローバルおよび地域の政策課題の学修に必要なレベルの日本語力と外国語力。 ●新しい環境において学修できる適応力と柔軟性。 ●自律的な学生生活を送り、目標達成をするために必要な主体性と協調性。 以上の資質の全てを有し、かつそれらのうち1つ以上の資質に秀で、社会貢献の意欲がある多様な学生を受け入れるため、本学部では以下の選抜試験を実施します。すべての選抜試験において、高等学校の調査書（または実践活動経歴書）の提出を課します。一般選抜および外国人留学生入学試験では、本学独自の筆記試験を課します。総合型選抜、学校推薦型選抜、および外国人留学生入学試験では、口頭試問を課します。 ●一般選抜では、特に知識と語学力を高く評価します。 ●大学入学共通テスト利用選抜では、特に知識と語学力を高く評価します。 ●総合型選抜では、特に適応力・柔軟性と主体性・協調性を高く評価します。 ●学校推薦型選抜では、特に知識と主体性・協調性を高く評価します。 ●外国人留学生入学試験では、特に大学での学習に適応できる日本語能力を高く評価します。

学部等名 経営学部
教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a> )
(概要) 経営学部は、営利組織だけでなく非営利組織も含めた社会におけるすべての組織に適合するマネジメントを学際的に研究し教育することにより、グローバルな視点とローカルな視点を持ち、新しい社会と産業を創造するプロフェッショナルの育成を目指します。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : <a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a> )
(概要) 経営学部では、地域社会や国際社会で活躍する起業家精神（アントレプレナーシップ）をもったマネジメントのプロフェッショナルの育成を目標としています。所定の単位を取得し、以下の知識・能力を修得したと判断された人に学士（経営学）を授与します。 ●幅広い教養とマネジメントについての専門的知識 ●地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力（コミュニケーション・リテラシーとメディア・リテラシー） ●マネジメントに関わる問題や課題を自ら発見し、解決するための思考力・判断力・実践力 ●起業家精神（アントレプレナーシップ）をもち、社会や組織の中でリーダーシップを発揮し、価値を創造する能力 ●多様な人と協力し、市民としての高い責任感と倫理観をもって主体的に社会に貢献する能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : <a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a> )



<p>(概要)</p> <p>経営学部では、地域社会や国際社会で活躍する起業家精神（アントレプレナーシップ）をもったマネジメントのプロフェッショナルの育成を目標に掲げ、これを実現することを意図したカリキュラムを編成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●将来の幅広い進路に対応した経営学、マーケティング、会計の知識・技能・問題解決能力を修得する教育を行います。</li> <li>●経営学をはじめとする社会科学の基礎を広く理解し、社会や産業に関する事象をマネジメントの視点からとらえる能力を養う教育を行います。</li> <li>●プロフェッショナルとしてグローバルに活動する基盤を形成するための情報通信技術、英語、会計の基礎教育を行います。</li> <li>●地域の行政や産業と連携し、地域社会の活性化に貢献する教育を行います。</li> <li>●大学における学修および生活やその後の人生を充実させるための初年次・導入教育、教養教育を徹底します。</li> <li>●大学卒業後の社会生活に向けた職業観を形成し、実務知識を修得するキャリア教育を行います。</li> <li>●教員志望の学生に対して、体系的な教職課程教育と教職人材育成プログラムにより、優秀な教員となるための支援を行います。</li> </ul>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>経営学部は、グローバルな視点とローカルな視点を持ち、新しい社会と産業を創造できるマネジメントのプロフェッショナルの育成を目指します。経営学部の上記理念を理解し、本学での積極的な学習をとおして、企業・会計、環境・情報、行政・教育、健康スポーツ、観光・地域分野などで活躍することを目指す意欲をもっている人を受け入れます。マネジメントを学ぶために必要である、高等学校での英語、国語、数学、社会系の科目（政治・経済、現代社会、倫理、日本史、世界史、地理など）の基礎学力を習得したうえで、以下の能力を有していることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●論理的思考力や判断力、主体性など、自ら問題について考え、分析し、解決する能力</li> <li>●コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎能力</li> </ul> <p>なお、語学、簿記、情報技術などの資格取得、生徒会、スポーツ・文化活動、ボランティア活動などで実績を示した人は、基礎的能力がある人材として高く評価されます。</p>

<p>学部等名 理学部</p>
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>理学部は、理学の本質を論理的・実証的に解析・考察する能力をもち、複雑な社会情勢に適用できる人材の育成を目指して教育研究を行う。1. 数学科は、綿密な論理構成と数学的な思考法を社会に応用できる人材の育成を目指して教育研究を行う。2. 化学科は、化学的思考力と実験技術を併せもち、社会に貢献できる人材の育成を目指して教育研究を行う。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>理学部では、理学の本質を論理的、実証的に解析・考察する能力と、複雑な社会情勢に適応できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士（理学）の学位を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>)</p>

<p>(概要)</p> <p>理学部では、綿密な論理構成と数学的な思考法、または化学的思考能力と実験技術を併せもち、地域社会や国際社会において活用できる人材の育成のために、次の科目を用意しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎的な英語の習得と高等学校と大学の橋渡しのための「基本科目」</li> <li>●幅広い人間性を養うための「関連科目」</li> <li>●数学・化学の専門性を養うための「専門科目」</li> <li>●教育職員免許状取得のための「教職関連科目（自由科目）」</li> </ul>
---

<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>)</p>
--

<p>(概要)</p> <p>理学部では、理学の本質を論理的、実証的に解析・考察する能力と、複雑な社会情勢に適応できる能力を身につけるための教育を実践するために、自ら学ぶ主体性と意欲をもち、物事の課題や問題点を考え、解決するために意欲的に努力する人を求めます。</p>
--

<p>学部等名 薬学部</p>
-----------------

<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>)</p>
---

<p>(概要)</p> <p>薬学部は、主観的 QOL (qualityoflife：生活と人生の質) に関わる領域を広く研究し、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援する人材の育成を目指します。1. 薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、教育研究を通して医療人としての専門知識と実践力、さらには倫理性を身につけ、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目指します。2. 薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、教育研究を通して研究者・技術者としての専門知識と実践力、さらには倫理性を身につけ、社会に貢献できる人材の育成を目指します。3. 医療栄養学科は、教育研究を通して人々の健康増進を支援する管理栄養士の育成を目指し、さらに医療における栄養学の高度化を目指します。</p>
--

<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>)</p>
--

<p>(概要)</p> <p>薬学部では、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる専門知識・技能、思考力・判断力・表現力を有し、実社会に貢献できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士(薬学、薬科学、医療栄養学)の学位を授与します。</p>
---

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>)</p>
--

<p>(概要)</p> <p>薬学部では、自立した社会人としての意識づけを行うことと、外国語の習得のための「基本科目」、幅広い人間性を養う上で有用な「関連科目」を配置しています。さらに、医療や健康に関して高い専門性を有した医療人・技術者の育成に必要な「専門科目」を配置し、段階的、体系的なカリキュラムを編成しています。</p>
---

<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html">https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html</a>)</p>
--

<p>(概要)</p> <p>薬学部では、「人々の主観的 QOL (qualityoflife：生活と人生の質)」を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる人材を育成します。よって、医療・健康分野で貢献できる人材として、薬学部における知識修得に必要な基礎学力を有するとともに、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもち、物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人を求めます。</p>
--

② 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/kohyo/publication.html>

③ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3人	－					3人
経済学部	－	9人	5人	0人	6人	0人	20人
現代政策学部	－	7人	10人	0人	2人	0人	19人
経営学部	－	15人	13人	0人	5人	0人	33人
理学部	－	23人	10人	0人	5人	0人	38人
薬学部（4年制）	－	13人	11人	0人	13人	5人	42人
薬学部（6年制）	－	20人	13人	0人	22人	5人	60人
教養部	－	4人	4人	0人	4人	0人	12人
その他	－	0人	1人	0人	2人	0人	3人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
1人			221人				222人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="https://researcher.josai.ac.jp/search?m=home&amp;l=ja">https://researcher.josai.ac.jp/search?m=home&amp;l=ja</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	300人	337人	112.3%	1,200人	1,307人	108.9%	欠員の範囲	12人
現代政策学部	250人	266人	106.4%	1,000人	1,057人	105.7%	欠員の範囲	11人
経営学部	500人	530人	106%	2,000人	2,070人	103.5%	欠員の範囲	17人
理学部	210人	224人	106.7%	840人	853人	101.5%	欠員の範囲	0人
薬学部（4年制）	150人	133人	88.7%	600人	514人	85.7%	欠員の範囲	1人
薬学部（6年制）	250人	246人	98.4%	1,500人	1,338人	89.2%	欠員の範囲	0人
合計	1,660人	1,736人	104.6%	7,140人	7,139人	100%		41人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済	269人 (100%)	3人 (1.1%)	218人 (81.0%)	48人 (17.9%)
現代政策	252人 (100%)	15人 (6.0%)	189人 (75.0%)	48人 (19.0%)
経営	488人 (100%)	13人 (2.7%)	415人 (85.0%)	60人 (12.3%)
理学	184人 (100%)	18人 (9.8%)	156人 (84.8%)	10人 (5.4%)
薬	359人 (100%)	36人 (10.0%)	267人 (74.4%)	56人 (15.6%)
合計	1,552人 (100%)	85人 (5.5%)	1,245人 (80.2%)	222人 (14.3%)
<p>(主な進学先・就職先) (任意記載事項)</p> <p>・進学先 (大学院)</p> <p>【経済学部】 なし</p> <p>【現代政策学部】 大阪大学大学院、神戸大学大学院、北海道大学大学院、お茶の水女子大学大学院、山梨大学教職大学院、玉川大学教職大学院、韓国太田大学院、法政大学大学院、一橋大学大学院、城西大学大学院、大正大学大学院</p> <p>【経営学部】 城西大学大学院、大原大学院大学、法政大学大学院</p> <p>【理学部化学科】 埼玉大学大学院理工学研究科、城西大学大学院</p> <p>【理学部数学科】 明治大学大学院、埼玉大学大学院、玉川大学教育学研究科、城西大学大学院</p> <p>【薬学部薬科学科】 群馬大学大学院医学系研究科、城西大学大学院薬学研究科</p> <p>【薬学部医療栄養学科】 城西大学大学院、東北大学大学院、立命館大学大学院</p> <p>【薬学部薬学科】 筑波大学大学院、城西大学大学院</p> <p>・就職先</p> <p>《経済学部》</p> <p>【金融】 あぶくま信用金庫、リテラ・クレア証券株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社東和銀行、株式会社武蔵野銀行、水戸信用金庫、東京シティ信用金庫、東濃信用金庫</p> <p>【公務】 茨城県鹿嶋市役所、宮城県職員、坂戸市役所、埼玉県警察本部、鶴ヶ島市職員、東京都羽村市役所、栃木県警察本部</p> <p>【メーカー】 コニカミノルタホールディングス株式会社、株式会社協正金型製作所、大木伸銅工業株式会社、大和冷機工業株式会社、アサヒビール株式会社、松村フーズ株式会社</p> <p>【小売】 株式会社セキ薬品、株式会社ビックカメラ、イオン東北株式会社、イオン北海道株式会社、オーケー株式会社、株式会社コモディイイダ、株式会社たいらや、株式会社ベルク、株式会社マミーマート、株式会社ヤオコー、株式会社ヨーク、株式会社ライフコーポレーション、株式会社ローソン、株式会社東武ストア</p> <p>【インフラ】 株式会社エナキス、株式会社かまや、株式会社サイサン、田邊工業株式会社、東京ガスパイプネットワーク株式会社、東京ガスファーストエナジー株式会社、本庄ガス株式会社</p> <p>【自動車】</p>				

日産プリンス埼玉販売株式会社、トヨタモビリティパーツ株式会社 埼玉支社、株式会社スズキトラス  
ト、株式会社ネクステージ、埼玉日産自動車株式会社、株式会社トヨタレンタリース多摩

【住宅・建設・不動産】

スターツアムニティー株式会社、株式会社アスピーア、株式会社日本ハウスホールディングス、山崎建設株  
式会社、東急テクノシステム株式会社、東電不動産株式会社、日興タカラコーポレーション

【ICT】

株式会社アーベルソフト、株式会社S I G、株式会社エルアイン、株式会社キュービックソリューション  
ズ、システム・プロダクト株式会社、株式会社システムフロンティア、株式会社セラク、蓼科情報株式  
社、日本企画株式会社、株式会社プロット、株式会社ミロク情報サービス

【商社】

リック株式会社、株式会社トップ、株式会社フォーバル、株式会社ムトウ、株式会社小泉、株式会社西原  
商会、岩瀬産業株式会社、新明電材株式会社、渡辺パイプ株式会社、藤川伝導機株式会社、尾家産業株式  
会社、北沢産業株式会社

【農協】

いるま野農業協同組合、くまがや農業協同組合

【医療・介護】

I M S グループ（板橋中央総合病院グループ）、栗田病院、独立行政法人国立病院機構、株式会社 Red  
Bear、株式会社ベネッセスタイルケア、株式会社愛総合福祉、株式会社木下の介護（木下グループ）

【フードサービス】

株式会社すかいらーくホールディングス、株式会社フライングガーデン、株式会社ベネミール、株式会社  
小布施堂

【その他サービス】

株式会社埼玉シミズ、株式会社日立ドキュメントソリューションズ、総合警備保障株式会社、TOMA コン  
サルタツグループ株式会社、サンラインスポーツクラブ株式会社、株式会社アカデミー

【その他】

株式会社エレベータシステムズ、株式会社サンキョウ、小倉設備興業株式会社、大林ファシリティーズ、  
株式会社つばさエンタテインメントグループ

《現代政策学部》

【ICT】

株式会社テクノプロ テクノプロ・IT社、協栄産業株式会社

【金融・保険業】

あさか野農業協同組合、株式会社第四北越銀行、埼玉縣信用金庫、城北信用金庫

【公務・団体】

警視庁、坂戸市役所、埼玉県警察本部、千葉県警察、潮来市役所、日高市職員、飯能市職員、福島県警察  
本部、防衛省（自衛官採用）、坂戸、鶴ヶ島水道企業団

【インフラ】

若松ガス株式会社、日本瓦斯株式会社

【小売】

株式会社いなげや、株式会社ノジマ、株式会社ビバホーム、株式会社ベルク、株式会社ヤオコー、埼玉日  
産自動車株式会社

【出版】

株式会社世界日報社

【証券】

東洋証券株式会社、岡三にいがた証券株式会社

【メーカー】

救心製薬株式会社、小島化学薬品株式会社、関東菱油株式会社、魚沼醸造株式会社

【その他サービス】

A L S O K 東京株式会社、株式会社武蔵野

【医療・福祉業】

I M S グループ、医療法人東光会 戸田中央総合病院、株式会社ベネッセスタイルケア、公益財団法人栃  
木県保健衛生事業団、新潟市民病院

【不動産・建設・住宅】

株式会社東日本地所、株式会社日立ビルシステムエンジニアリング、共立プラント工業株式会社、大和リ  
ビングマネジメント株式会社、ミサワホーム株式会社

《経営学部》

【ICT】

トランスコスモス株式会社、株式会社新日本通信、富士ソフト(株)、(株)NTT 東日本、(株)USEN、(株)キューブシ

システム、(株)クレオ

【医療・福祉業】

IMS グループ、SOMPO ケア株式会社、上尾中央医科グループ、戸田中央医科グループ

【飲食・宿泊】

(株)プリンスホテル、(株)星野リゾート・マネジメント、(株)ホテルオークラ東京

【運輸業】

東京地下鉄(株)、日本郵政(株)、東日本旅客鉄通(株)、(株)AIR DO

【ガス・電気・インフラ】

中国電力(株)、東京ガスエネワーク(株)、日本瓦斯株式会社

【教育・学習支援】

愛知県立公立学校教員、学校法人関東学院大学、学校法人埼玉医科大学、埼玉県公立学校教員、学校法人長嶋学園 城南静岡高等学校、群馬県公立学校教員

【金融・保険業】

JA いるま野、JA 全農さいたま、JA ほくさい、飯能信用金庫、りそなグループ、株式会社三井住友銀行、(株)第四北越銀行、(株)ホンダファイナンス、(株)三井住友銀行、(株)ゆうちょ銀行、埼玉縣信用金庫、東京シティ信用金庫、東京信用金庫

【公務・団体】

春日部市役所、川口市消防本部、警視庁、埼玉県警察本部、自衛官、栃木県警察本部、富里市役所、習志野市役所、壬生町役場、熊谷市役所、坂戸市役所、税理士法人 赤坂国際会計事務所、東日本高速道路株式会社 (NEXCO 東日本)

【小売】

アディダスジャパン(株)、トールコーヒー、ブリヂストンリテールジャパン株式会社、リコージャパン(株)、(株)イトーヨーカ堂、(株)エービーシー・マート、(株)セブンイレブン・ジャパン、ビックカメラ、(株)フォーバル、(株)ユニクロ、(株)ヨドバシカメラ

【メーカー】

JFE スチール(株)、愛三工業(株)、アイリスオーヤマ(株)、北越コーポレーション(株)、積水化学工業(株)、ソフトバンクグループ、日鉄鉱業(株)、日本製鉄(株)、富士通(株)、本田技研工業(株)、理研計器(株)、(株)ピククルスコーポレーション、(株)SUBARU、(株)アイシン、(株)伊藤園、(株)デンソー

【不動産・建設業】

大林組(株)、スターツコーポレーション(株)、住友不動産販売(株)、住友林業(株)、積水ハウス(株)、大和ハウス(株)、高砂熱学工業(株)、東建コーポレーション(株)、東鉄工業(株)、三井ホーム(株)、株式会社アットホーム、(株)協和エクシオ、(株)日立ビルシステム、(株)明和地所、住友不動産建物サービス(株)、ポラス株、三井ホームハウジングパートナー、甲信アルプスホーム株

【商社】

ササキ株式会社、ブリヂストンタイヤ栃木販売株式会社

【証券】

岡三証券株式会社、水戸証券株式会社

《理学部 化学科》

【公務・団体】

茨城県美浦村役場、化学物質評価研究機構

【金融】

川口信用金庫

【メーカー】

トキコシステムソリューションズ、プラスチック、T&Ktoka、富士セラミックス、金属被膜研究所、フロロコート、イケダガラス、ジェイオーシー羽生、&UC (アングス) 明治、ミツハシ、東亜酒造、フジフーズ、プライムデリカ、東京冷機工業、昭工舎

【人材サービス】

アドバンテック、アウトソーシングテクノロジー、UT エイム、エンテックス、日研トータルソーシング

【設備サービス】

野村不動産パートナーズ、ダイケンビルサービス

【小売】

ディーゼルジャパン、ヤマダデンキ、ゲオホールディングス

【教員】

埼玉県立中学校、茨城県公立中学校

【小売】

ディーゼルジャパン、ヤマダデンキ、ゲオホールディングス

【ICT】

薬科情報、ISID インターテクノロジー、メガテクノロジー、情報システム工学、シーブアンドフォックス、トライサーブ、アイオス

【その他サービス】

関東メジャー、ミヤマ、MSP、徹喰、あさくま、J-power ジェネレーション、ヒューマンテック、新和電工、インフィニティエージェント、日本交通、金子農機

《理学部 数学科》

【教育】

イー・エス・ティ（思学舎グループ）、沖縄県立宮古工業高校、北海道公立小中学校、沖縄県糸満市立西崎中学校、群馬県渋川市内中学校、群馬県立西邑楽高校、埼玉県公立高校、埼玉県立深谷高等学校、千葉県立銚子高校、東京都立学校、栃木県南那須川中学校、栃木公立中学、東松山市立北中学校、本庄市立児玉中学校、山形県私立鶴岡東高校、鹿児島県三島村、十島村中学、埼玉県桶川市立加納中学校、埼玉県羽生市立羽生東中学校、埼玉県坂戸市立小学校、(株)イー・アンド・アイ、(株)臨海

【ICT】

SCSK Minori ソリューション(株)、アルファシステムズ(株)、インターネットウェア(株)、協栄産業(株)、コンピュータロン(株)、東和コンピュータマネジメント(株)、トーテックアメニティ(株)、日本システム技術(株)和心システム(株)、(株)ISID インターテクノロジー、(株)アール・テー・ワイ、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)アルスウェア、(株)インサイトワン、(株)クレオ、(株)情報システム工学、(株)ソフテックス、(株)ソフトウェア・サービス、(株)テクノカルチャー、(株)朋電舎、(株)ネクステージ、(株)日立社会情報サービス

【金融】

青木信用金庫、興産信用金庫、埼玉縣信用金庫、中ノ郷信組内定、飯能信用金庫、明治安田生命保険相互会社

【メーカー】

(株)TLP、(株)ダイドー、(株)リーブルテック

【小売】

ギャップジャパン(株)、ロピア(株)、(株)イービーシー・マート、(株)カワチ薬品、(株)くすりのアオキ、(株)ノジマ(株)ヤオコー、(株)あさひ、(株)いーふらん、(株)宇佐美鉱油、(株)ノジマ、(株)ライフコーポレーション

【公務・団体】

美浦村役場、山形県庁、水戸農業協同組合

【その他】

学研ココファン(株)、社会福祉法人はぐくむ会、社会福祉法人飛騨慈光会、DSP(株)、U Tエイム(株)、アルファクラブ武蔵野(株)、共同エンジニアリング(株)、シムックス(株)、(株)アールピーエム、(株)アウトソーシング(株)イレーション、日研トータルソーシング(株)

《薬学科》

【調剤薬局】

株式会社サンアイエム企画、サンハルク株式会社、総合メディカル株式会社、株式会社杏林堂薬局、アイングループ、株式会社アインファーマシーズ、株式会社飛鳥薬局、株式会社アビック、アポクリート株式会社、クオール株式会社、クラフト株式会社 さくら薬局、コスモプラス株式会社、シーエスグループ 田辺薬局株式会社、日本調剤株式会社、株式会社ファークロス、株式会社フォーラル、有限会社日本メディカル、株式会社アイアイファーマシー、株式会社アイセイ薬局

【ドラッグストア】

イオンリテール(株)、ウエルシア薬局(株)、(株)クスリのアオキ、(株)クリエイト エス・ディー、(株)ココカラファイン、(株)サンドラッグ(株)スギ薬局、(株)セキ薬品、(株)千葉薬品、(株)ツルハ、(株)トモズ、(株)富士薬品

【病院】

国立がん研究センター東病院、学校法人自治医科大学、学校法人慈恵大学、獨協医科大学、国際医療福祉大学病院、医療法人清心会 至聖病院、医療法人東明会 原田病院、医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院、医療法人社団愛友会 三郷中央総合病院、一般社団法人巨樹の会 所沢明生病院、IMSグループ（板橋中央総合病院グループ）、医療法人徹裕会蜂谷病院、医療法人沖繩徳洲会 鎌ヶ谷総合病院、医療法人沖繩徳洲会 館山病院、埼玉医科大学国際医療センター、社会福祉法人恩賜財団 済生会 龍ヶ崎済生会病院、医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院、徳洲会白根徳洲会病院、深谷赤十字病院、医療法人財団明理会 春日部中央総合病院、社会福祉法人恩賜財団済生会 龍ヶ崎済生会病院、医療法人社団亮正会

【企業 (MR)】

杏林製薬株式会社、白十字株式会社

【企業 (研究開発・治験)】

シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社、株式会社アールピーエム

【公務】

食品衛生監視員

<p>《薬科学科》</p> <p>【医薬品・医療・福祉】 日本ジェネリック株式会社、株式会社L S I メディエンス、社会福祉法人めぐみ会、株式会社コスモス薬品、日本赤十字社関東甲信越ブロック、医療法人財団三友会 深川ギャザリアクリニック</p> <p>【メーカー】 株式会社井ロー世、彩資生株式会社、トキコシステムソリューションズ株式会社、株式会社ヨコオデリーフーズ</p> <p>【その他】 クオリサイトテクノロジーズ株式会社、関東日本フード株式会社、リコージャパン株式会社、アイデックス社</p> <p>《医療栄養学科》</p> <p>【病院】 医療法人真美会 麻美江ホスピタル、越谷市立病院、黒沢病院、コンピスデンタルクリニック、埼玉医科大学病院、埼玉石心会病院、ティーエムクリニック、戸田中央医科グループ、三芳野病院</p> <p>【介護老人福祉施設】 特別養護老人ホーム信隆会若木ライフ、株式会社グローバルキッズ</p> <p>【ドラッグ・調剤】 コスモ薬局、株式会社ノムラ薬局、アイングループ、アポクリート株式会社、株式会社南山堂、株式会社フォーラル、カイエー薬局グループ、株式会社クスリのアオキ、株式会社クスリのサンロード、株式会社セキ薬品、株式会社ツルハ、株式会社富士薬品</p> <p>【給食委託施設/フードサービス】 エムサービス株式会社、株式会社センダン、西洋フード・コンパスグループ株式会社、株式会社東京天竜、日清医療食品株式会社 東京支店、株式会社ベネミール、淀川食品株式会社、株式会社LEOC 株式会社エム・ティー・フード、株式会社ニフス、株式会社パンプキンズコーポレーション</p> <p>【メーカー】 彩裕フーズ株式会社、シップヘルスケアフード株式会社、チチヤス株式会社、株式会社ファーストフーズ株式会社明治</p> <p>【その他企業】 株式会社ラストウェルネス、株式会社第一住宅、大岡船舶株式会社、株式会社リキッド、株式会社福井銀行、株式会社フレッセイ、株式会社バルク、株式会社マミーマーケット</p> <p>【公務】 川越市、八王子市、防衛省自衛隊、群馬県立がんセンター</p> <p>(備考)</p>
---

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
経済学部	312人 (100%)	242人 (77.6%)	34人 (10.9%)	36人 (11.5%)	0人 (0%)
現代政策学部	262人 (100%)	204人 (77.9%)	17人 (6.5%)	41人 (15.6%)	0人 (0%)
経営学部	513人 (100%)	438人 (85.4%)	26人 (5.0%)	49人 (9.6%)	0人 (0%)
理学部	223人 (100%)	165人 (74.0%)	19人 (8.5%)	39人 (17.5%)	0人 (0%)
薬学部(4年制)	125人 (100%)	94人 (75.2%)	16人 (12.8%)	15人 (12.0%)	0人 (0%)
薬学部(6年制) ※2016年度入学	311人 (100%)	147人 (47.2%)	72人 (23.2%)	92人 (29.6%)	0人 (0%)
合計	1,746人 (100%)	1,290人 (73.9%)	184人 (10.5%)	272人 (15.6%)	0人 (0%)
(備考)					



⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバスには科目担当教員が授業の目的・目標、学修成果、到達目標、授業毎に講義の内容等を公表しています。</p> <p>さらに、授業の方法や成績評価方法、オフィスアワーの時間帯、居室等も記載しています。</p>
---

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>年度末に開催される各学部の卒業判定教授会において、最終学年（4年生（薬学科は6年生））の成績評価表を基に、それぞれの学部にて定められた卒業要件の科目の成績が適切に評価されているかの確認をしたうえで、卒業の可否を決定する。（各学部において定められた分野の科目の評価を確認）</p> <p>なお、学生に対する卒業可否についての発表は「卒業発表日」（年間行事予定表に掲載）に行う。</p>
--

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	128 単位	有・無	1 年生 48 単位 2 年生以上 44 単位
現代政策学部	社会経済 システム学科	130 単位	有・無	48 単位
経営学部	マネジメント 総合学科	132 単位	有・無	1 年生 48 単位 2 年生以上 44 単位
理学部	数学科	124 単位	有・無	49 単位
	化学科	128 単位	有・無	1 年生 49 単位 2 年生以上 48 単位
薬学部	薬学科	186 単位	有・無	49 単位
	薬科学科	124 単位	有・無	49 単位
	医療栄養学科	131 単位	有・無	49 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：<a href="https://www.josai.ac.jp/about/campus/index.html">https://www.josai.ac.jp/about/campus/index.html</a></p> <p>なお、紙媒体の大学案内にも掲載しております。</p> <p>*紙媒体入手方法</p> <p>城西大学入試課宛てに電話の上入手可能</p> <p>TEL 049-271-7711 (直通)</p>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	700,000 円	270,000 円	284,000 円	施設設備費 休学中の在籍料
現代政策学部	社会経済システム学科				
経営学部	マネジメント総合学科				
理学部	数学科	880,000 円	270,000 円	284,000 円 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料
	化学科	963,000 円	300,000 円	402,000 円 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料
薬学部	薬学科	1,460,000 円	300,000 円	511,000 円 (2年目以降は 611,000 円) 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料
	薬科学科	1,260,000 円	300,000 円	486,000 円 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料
	医療栄養学科	1,380,000 円	300,000 円	306,000 円 (2年目以降は 486,000 円) 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要)
① 学内奨学金として、入学成績上位者に対する授業料減免制度、学業成績・人物優秀者に対する授業料減免制度、本学独自制度による海外留学に伴う奨励制度、海外からの留学生に対する授業料減免制度、学費支弁者の死亡による授業料・施設整備費の全額補助制度があります。
② 学外奨学金として、日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体の奨学金を活用し支援を行っている。
③ 障がい学生には、学生サポート、学内のバリアフリー化、支援申請に基づく支援等、可能な限りの支援を行っている。
④ 学部学生には、選考により、教育的配慮の下に学内業務に従事させ、経済的援助を行い、修学の奨励を図っている。(ワークスタディ・プログラム制度)
⑤ 図書館においては、論文やレポートの書き方のアドバイス、文献の探し方やパソコンの使い方を教える、学生アドバイザーを配置し学習支援にあたっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要)
本学では、就職支援のために就職委員会を組織し、全学的事務組織としてのキャリアサポートセンターと連携しながら、就職支援活動を進めている。就職委員は各学部を担当教員がおり、教授会等で就職状況を報告し、ゼミナール、研究室担当教員と連携を取りながら、個々の学生の就職活動を支援している。
キャリアサポートセンターの中に就職支援室、就職資料室、学習室がある。支援室には受付カウンター、個別面談室(4室)、ビデオ及びモニター(1組)、学生用コピー機(1機)、閲覧テーブル、就職関係書架、就職活動用PC設備(常時開放、10台)があり、日曜日等を除いて利用可能である。資料として求人票、会社案内等がファイリングされ閲覧でき、各種イベントなどのポスター掲示もしている。
さらに、本学ホームページ( <a href="http://www.josai.ac.jp/career/index.html">http://www.josai.ac.jp/career/index.html</a> )を利用して就職活動関連情報を提供している。また、学生個人の就職活動を支援するウェブサイト「城西インターンシップ・求人管理システム(キャリタスUC)」も提供している。

上記の環境をもとに、学生一人ひとりが納得のいく進路決定ができるよう、様々なサポートを行っている。具体的な内容は、きめ細かな個別指導、先を見据えた各種ガイダンスの開催、企業の採用活動状況を鑑みた時期での情報提供の3点である。

① きめ細かな個別指導

各学年と個人の考えや状態に合わせた助言をキャリアカウンセラー(国家資格キャリアコンサルタント資格保有職員)が行っている。その体制は、各学部担当を設け、全学生の把握できるようにしている。主な助言は、進路・職業の選択の相談からエントリーシート・履歴書の書き方・添削、模擬面接等である。個人相談は、状況に応じて、「オンラインのみの対応」、「対面もしくはオンラインの選択式」と学生が安心して利用できるよう、新型コロナウイルス感染拡大を防止するよう徹底している。

② 先を見据えた各種ガイダンスの開催

大きく分けて低学年向け(学部1年生～2年生)、就職活動の準備学年向け(学部3年生、大学院1年生～3年生)、就職活動生向け(学部4年生、大学院2年生～4年生)と3つに分かれる。低学年向けでは、課題解決型の講座、職業適性検査、SPI模試などで就職意識の醸成を図る計画、就職活動の準備学年向けでは、履歴書・エントリーシートの作成方法や、自己分析、企業研究の仕方や必要な情報提供など実践的な内容で開催。就職活動生向けでは、企業研究会を時期に応じて2回の開催、求人紹介会をハローワークと連携し開催。前述したガイダンスは新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、オンラインにて開催をした。

③ 企業の採用活動状況を鑑みた時期での情報提供

「城西インターンシップ・求人管理システム」を活用して、最新の求人・インターンシップ・対策講座・各種ガイダンス情報、相談ができる時間を公開し、提供を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

①保健センターは看護師が定期健康診断、突発的な怪我や病気等に対応を行っている。

(ア) 授業中に気分が悪くなったとき

(イ) 課外活動中の怪我をしたとき

(ウ) 持病をもっている学生の健康管理

(エ) 週一回内科医による健康相談が可能です。

(オ) 神経科・心療内科医師による悩みごと相談が可能

②学生相談室は、公認心理師、臨床心理士が学生の悩みごとや心配ごとなどに対応をしている。

(ア) 学生支援が必要な学生に対し、担当学部、学科の教職員と調整を行い授業が受けられるよう支援

(イ) 課外活動、学業のこと、友人関係のことなどの悩みごとなど対応

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/kohyo/publication.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F111310102094
学校名	城西大学
設置者名	学校法人 城西大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		441人	428人	465人
内 訳	第Ⅰ区分	252人	246人	
	第Ⅱ区分	112人	119人	
	第Ⅲ区分	77人	63人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				473人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	24人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	24人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。